

	質問者	質問・ご意見	回答
1	学生	国公立の大学を志望しています。薬科大、医科薬科大、総合大学、工学部と薬学だけとか等、薬学部のある大学のおかれている環境は色々あると思います。学ぶ環境で違いが出てきますか？あるのはどういうところですか？医療系の学部が他にある方が、学習や研究などに連携がとれて情報などが得やすい等ありますか？	詳細は各大学へご確認いただくことが一番かと思いますが、各大学でそれぞれの大学の持つ特色をPRポイントとされているように思います。一般論で言えば、同じキャンパスや大学で他の医療系の学部・学科がある方が連携は取れると思います。一方で、個々の大学のみならず近隣の大学とも連携しているケースもあるので、一概には言い切れないと思います。
2	学生	大学レベルもピンキリですが、頑張って偏差値の差(高いレベルの大学)で入学後の学習についていけなくなることはありませんか？薬学生は進級や卒業自体も困難で、留年や中退も多いと聞きます。	基本的に学ぶカリキュラムは国公立、私立大学で統一されたものになります。大学や教員によって評価のポイントやレベルが異なる可能性もありますが、入学試験を突破されたのであれば、進級や卒業も可能であると判断されたものと考えます。必要な学習を行うことが重要ではないかと考えます。
3	学生	オープンキャンパス等で大学の見る箇所、確認しておくといことは？	これについては、大学に求めること、学生生活をどう過ごしたいかということも大きく影響を与えると思います。皆さんが重視される事項を確実に確認しておくことが重要だと考えます。
4	学生	私立に行く場合、生活費を含め卒業までに2,000万以上かかる試算です。島根県から就学の為の給付金等ありますか？	利用できる制度として、日本学生支援機構の奨学金や、大学独自の奨学金、地方公共団体の奨学金などがありますので、ご活用ください。 また、給付金ではありませんが、島根県の地域枠を持つ私立大学が二つ（明治薬科大学、神戸薬科大学）あります。地域枠の場合、国立大学並みの学費程度で在学できます。 詳しくは、それぞれの大学ホームページをご覧ください。
5	学生	国試の合格率の低い大学は、避けるべきですか？	国家試験の合格率については、その数字が何を意味するのかを精査する必要があります。一見合格率が高く見えても、実際は卒業試験等で受験者をふるいにかけているケースも少なくありませんし、そもそも受験者が十分な学習をすれば通過できない試験ではありません。受験者にとっては大変なことではありますが、大学がどうこうよりも、本人のやる気や努力が大きく影響するように思います。
6	学生	卒業後も自分のテーマがあれば、働きながらどういう環境で研究を続けることが出来ますか？	詳細については大学に確認していただくべき事項だと思います。研究の分野は今後も拡大していくと考えておりますし、過疎、高齢化の進む島根県でも研究できるような方向についても検討を進めていきたいと考えています。
7	学生	病院勤務では、大学病院が高収入だと聞きますが転勤はないですか？	県内に限定して言えば、大学病院からの転勤はほぼないと言えます。ただし、島根県内で不足する病院薬剤師の充足のための事業によって、一部の薬剤師が他の病院で勤務することがあるようです。
8	学生	大きい病院での交替勤務は大変ではないですか？	薬剤師の勤務も他職種と同様に交替勤務があります。正直大変なこともあると思いますが、入院中の患者さんのケアには避けて通れない業務とも言えると思います。
9	学生	大変なことは何ですか。やりがいとはどんなことですか。	人の健康や命に関わる仕事である以上、大変なことは色々あります。大変なことに対峙し、自分なりに結果を残すことはやりがいであると思います。また、個人的な意見となりますが、人に「ありがとう」と言われることは十分なやりがいだと思います。
10	学生	推薦入試の内容について教えてください。	入試についての情報については、各大学のホームページ等、最新の情報を得るようにしてください。
11	学生	薬剤師資格取得の難易度等	薬剤師資格取得の難易度については考えたことがなかったので、答えに窮しております。他の設問にも答えたことと重複するかもしれませんが、必要な知識、技能、態度（総じて学力）を獲得するための十分な学習を行うことができれば、十分に資格を取得できると思います。
12	学生	仕事の内容	セミナーの内容で回答に変えさせていただきますが、一言で薬剤師と言っても、幅広い仕事に就くことができます。
13	学生	薬剤師になるために、特に高校で力を入れるべき科目は何ですか？	やはり理系の科目は重要になると思います。それは各大学への受験のためには試験科目を履修しておくことが大切になるからです。
14	学生	高校生の頃の勉強時間	これに関しては個々の習熟度によって異なりますので、ご回答しかねます。
15	学生	今からやっておいた方がいいこと	まずは勉強をする習慣を身につけることです。何かやりたいことができた際に、必要になる学力を習得するには勉強は不可欠です。強いて言うなら、受験に有利になるような強化を重点的に学習することかもしれません。
16	学生	得意なこと、苦手なこと	一般的に薬剤師は物事を決定することが苦手です。医療においては疑義照会等、ミスや勘違い等を患者に影響する前に未然に防ぐような活動をしています。そう言う意味では、他職種よりも細かなところに目がいくことが得意なのかもしれません。
17	学生	助成金制度についてなど	<島根県回答> (R7.3.1時点) ○島根県に地域枠を持つ薬科大学の見学旅費助成 【助成内容】 一人につき年度内明治薬科大学45,000円、神戸薬科大学20,000円を上限として大学見学にかかる交通費、宿泊費を助成 【対象】 地域枠制度を設けている大学の薬学部を目指す高校生 ○島根県内の登録事業所(※)で、新たに薬剤師として働く方へ奨学金の返還を助成 ※一部の病院または薬局。R6.12.31時点で病院23カ所、薬局29カ所 【助成内容】 最大288万円 助成額：月額上限2万円、助成期間：最長12年間 【対象奨学金】 島根県育英会奨学金、日本学生支援機構奨学金 など 【問い合わせ先】 島根県健康福祉部薬事衛生課 TEL：0852-22-5259 E-mail：yakuji@pref.shimane.lg.jp
18	学生	やりがい、楽しさはどんなところにありますか？	やりがいや楽しいと感じることが、それぞれの薬剤師によって違うということは、セミナーで発表した薬剤師から聞かれた通りです。
19	学生	薬局で働く薬剤師と総合病院などで働く薬剤師の仕事内容の違いはあるのか知りたいです。	セミナーの違いについては感じていただけたと思います。
20	学生	薬剤師の国家試験に合格するためにどのようなことを学ぶのか、大学の薬学科にあって薬科学科にないメリットは何か	薬学で学ぶカリキュラムについては簡単にご紹介したと思います。薬剤師の養成課程においては、大学や学科が異なっても、骨格は変わりません。各大学で特色とされているPRポイントもありますので、気になる大学の情報は収集してみてください。
21	学生	薬剤師になって良かったと思う時はどんな時ですか。	これについては薬剤師によって異なるかもしれません。個人的には患者さんやその家族の方から感謝されること、また他の医療職種からの感謝や認めてもらえることはとても嬉しいことだと思います。

22	学生	進路を決めるにあたっての注意など	どの進路もそうかもしれませんが、相応の努力や負担があります。薬剤師の資格を取得したらゴールというわけでもありません。やりたい事に向かって努力を続ける気持ちを持ち続けることが大切だと思います。
23	保護者	高校生の内から取り組んでいたほうが良いことがありますか。	将来なりたい姿を想像することは、より具体的に努力を行う原動力ともなるので真剣に考えてみることは大切だと思います。
24	保護者	薬剤師になった理由と良かったこと。	薬剤師によって異なるということはセミナーでお伝えできたと思います。
25	保護者	大学時代の過ごし方。	短時間でしたので十分説明できなかったかもしれませんが、大学での授業や実験以外にもバイトやサークル活動等、一般の大学生と同じような過ごし方だと思います。一方で、卒業試験や卒業研究、国家試験等、忙しい面もあるかと思っています。
26	保護者	勤務先にはどんな所があるか。	セミナーでは、薬局、病院、医薬品卸、行政、製薬企業についてご紹介しました。
27	保護者	勤務時間について。	勤務環境によって大きく異なると思います。セミナーでご紹介した5つの職域でもそれぞれ異なります。
28	保護者	初任給と昇給について。	就職する職種や地域等、初任給はいろいろだと思います。一例で言うと、同業種でも田舎の方が高いと言われる。昇給については、業種や業績によって異なるので、一般論での回答は困難かと思っています。
29	保護者	助成金制度や大学周辺の住居（寮等）環境	それぞれの大学によっても異なると思いますので、興味のある大学の周辺環境について調べてみるのもいいと思います。
30	保護者	大学に入るまで、国家資格を取るまで、どんな勉強をしましたか？	大学入学までには、必要な受験科目の習得が必要です。国家試験の受験科目も決められていますので、必要な学力を得るための学習、努力は必須です。
31	保護者	生活費を除き、大学6年間卒業までにどのくらいお金がかかりますか？ 国公立、私立別（最高・最低）におおよその金額を知りたいです	セミナー内でも一部触れさせていただいた内容です。国公立、私立によつての違いもありますし、私立大でも制度利用によって費用負担が軽減、免除されることもあるようです。
32	教員	島根県では薬剤師がどれくらい不足しているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・本県出身の薬学部（6年制）在籍者数は全国最下位（R5年度258人） ・令和4年12月31日時点における、島根県内の薬剤師数は1,451人 ・人口10万人対（薬局・医療機関等の従業者）では、189.5人で全国30位の状況 ・職種偏在、地域偏在があり、特に病院薬剤師は、松江・出雲を除く離島・中山間地域で不足 ・薬剤師の充足率は、R5.10.1時点では病院は83.9%、薬局は90.3%となっており、病院でより不足している状況
33	教員	薬剤師の果たすべき役割とは何か？	薬剤師の果たすべき役割については、その職域によって求められる役割も異なります。どの領域においても薬剤師しか持ちえない見識、能力が問われています。薬剤師が得意なことは案外多いので、他職種とも協力して働くことができます。
34	教員	薬剤師は今後も必要な仕事になるのか（AIに変わる仕事にならないか？）	薬剤師の仕事は単にモノ（医薬品）の販売、譲受を行うことではありません。患者さんや顧客に対して個別最適化した情報を付与して適切に使用していただくために活動しています。AIやITの発展が薬剤師の仕事に肩代わりするのではないかと懸念があることは承知していますが、薬剤師は対面で患者やその家族にに対し、同じモノを販売するにしても、異なるポイントや懸念点について理解を得ながら販売するようにしています。AIやIT機器等を活用した薬剤師になりたいと考えています。
35	教員	なぜ山陰に薬剤師養成学部が出来ないのか？	山陰に薬剤師養成学部が出来ない理由については、いくつか理由があると考えています。第一に国公立の養成課程がないということです。それぞれの大学の沿革の中で、各地に薬剤師の養成学部が作られました。結果として山陰にはそのような流れが起きなかったということだと思います。第二に人口の少なさです。人口が少ないということは、薬剤師のニーズ（必要数）が少ないということに繋がります。養成学部を作ると言うことは、その地で継続的に薬剤師を養成することとなります。期間限定でといったことはありませんので、当然優先順位は下がると思います。
36	教員	病院薬剤師と薬局薬剤師とでは何が違うのか？	患者さんへのアプローチの違いだと考えています。病院薬剤師は、入院中の患者の治療において必要な活動を行います。入院の必要な重症患者をケアするには高度な知識と他職種との協働が求められます。一方で薬局薬剤師は在宅（自宅）で療養の中で、入院患者と比較すると軽症かもしれませんが患者や家族の生活や介護等の職種とも協働して患者さんの生活を支えています。基本的な知識や能力は同じでも、その活用の仕方が異なるのではないかと考えています。